

<ニュースリリース>

カゴメが地域生産者と日本の消費者をつなぐ。

通信販売で新ビジネス『農園応援』をスタート

食文化と農業に関心の高い消費者へ、全国各地のストーリーある農産物をお届け

カゴメ株式会社(社長:寺田直行、本社:愛知県名古屋市)は、2016年10月18日から、自社で運営する通信販売事業の中に、新ビジネス『農園応援※1』を立ち上げます。地方に眠る特色ある果実や野菜を、カゴメが通信販売ビジネスで築いてきた仕組みを活用して、お客様にお届けします。

カゴメは1998年に、通信販売事業『健康直送便』をスタートさせました。『健康直送便』では、「お店では買えない特別なカゴメ」をコンセプトに、野菜ジュースやサプリメントなどを取り扱っております。現在では38万人の顧客、年間約88億円の売上(2015年度)を有しています。

今回立ち上げる新ビジネス『農園応援』では、食において高まる「地域」・「農業」への関心をビジネスチャンスと捉えて、新たな需要と顧客を創造します。具体的には、カゴメが全国各地の生産者を訪ね、農産物を目利きし、青果や加工品を“いつ・だれが・どこで・どのように”という物語とともに、お客様にお届けします。まずは、『健康直送便』を利用している既存顧客に対して、オンラインショップやメールマガジンで、同事業を案内します。

『農園応援』で初年度に展開する商品は、山形県上山市にある「果樹楽園うばふところ」佐藤 和愛さんの<ゴールド ラフランス(青果)※2>と北海道余市町にある「水尻農園」水尻 宏明さんが栽培したトマトを搾った<北海道余市トマトジュース※3>の2品をオンラインショップで販売します。17年度以降は、取扱い品目を拡大して、展開していく予定です。

カゴメは『農園応援』を通じて、地域生産者と日本の消費者をつなぐことで、地域農業活性化に貢献したいと考えています。地域に眠る価値ある農産物を消費者に伝え、需要を喚起し続けることは、カゴメの持続的成長に繋がるのと同時に、生産者の困り事である消費者とのコミュニケーションの構築、安定的な販路の確保、生産量の拡大といった課題解決にも繋がります。

※1 「農園応援」について

<ブランドステイメント>

まず、第一に、希少でおいしい農作物をつくっていること。
そして、未来に受け継いでいきたい確かな理由があること。

「農園応援」は、わたしたちが日本全国を歩き回って出会った
そんな価値のある農園を、次世代にしっかりと繋いでいくための応援活動です。

お届けするのは、その農園が丹精込めて育てた農作物、
あるいはその農作物でカゴメがつくった商品です。

ここでは、その農園や農作物についてご紹介します。
あなたの心が少しでも動いたら、わたしたちの「農園応援」に、ぜひご参加ください。
農業が、大地に生きる人たちが、もっともっと元気な国に。
「農園応援」、さあ、一緒に。

<ブランドロゴ>



※2 ゴールド ラ・フランス(青果)

商品特長	生産者が少なく、地域でも希少な青果。 西洋梨の中でも香りが高く、甘みが深い。
産地・生産者	山形県上山市「果樹楽園うばふところ」 佐藤 和愛さん
規格	1セット2kg(4個～6個)
販売価格	5,500円(税別)
出荷時期	2016年11月24日頃から 産地直送(生産者が食べ頃のタイミングを見計らい出荷)

※3 北海道余市トマトジュース

商品特長	カゴメが10年がかりで開発した新品種系統、爽果(さやか)を使用。 糖酸比が高く、トマトジュースにすると青臭さが少なく飲みやすい。 北海道で育ったトマトを北海道の工場で搾った贅沢なトマトジュース。
産地・生産者 製造工場	北海道余市町 水尻 宏明さん 北海道沼田町 沼田町農産加工場
規格	190g×18本入り
販売価格	4,500円(税別)
出荷時期	2016年11月28日頃から



ゴールド ラ・フランス(青果)



北海道余市トマトジュース

■ カゴメ『健康直送便』

0120-719-899 9時～21時 (年末年始を除く毎日)

<報道機関様むけのお問い合わせ先>

カゴメ株式会社 経営企画本部 経営企画室
広報グループ 鶴田、北川
TEL/03-5623-8503 FAX/03-5623-2331